

# 医科学（I）

## （MSD-I : Medical Science for Dentistry-I）

責任者・コーディネーター	口腔医学講座（関連医学分野） 千葉 俊美 教授				
担当講座（分野）	口腔医学講座（関連医学分野）、医学部各講座				
対象学年	4	区分・時間数	講義/演習	実習	
期間	前期		前期	36.0時間	—
			後期	—	—

### 学修方針（講義概要等）

4年次で歯科医師が必要とする医学的知識の習得を目的とし、さらなる専門分野の知識を得ることにより、歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療について学修する。

### 教育成果（アウトカム）

口腔医学の観点から歯科診療上重要な眼科学、産婦人科学、皮膚科学、小児科学、泌尿器科学、精神神経科学、臨床検査医学などの疾患の病因・病態と診断・治療を学び、主要疾患の基本的知識を習得することで、口腔と全身の関わりを理解するとともに、全人的医療の一環としての歯科医療人が育成される。

（関連するディプロマポリシー：3、4、8）

### 到達目標（SBOs）

1. 精神・神経疾患について理解し説明できる。
2. 泌尿器疾患、腎不全、尿路感染症、尿路結石症、性行為関連感染症について理解し説明できる。
3. 腫瘍の発生、転移、がん遺伝子と化学療法について理解し説明できる。
4. 小児科疾患について理解し説明できる。
5. 眼科疾患について理解し説明できる。
6. 臨床検査学、輸血療法、細菌学検査について理解し説明できる。
7. 産婦人科学について理解し説明できる。
8. 皮膚科疾患について理解し説明できる。
9. 冠動脈バイパス術、感染性心内膜炎と弁膜症の外科について理解し説明できる。
10. 非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）について理解し説明できる。
11. 院内感染について理解し説明できる。

### 事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	6/10 (月)	1	三田俊成講師 (神経精神科学講座)	<b>1. 精神・神経疾患総論</b>	以下の項目について説明できる。 1. 主な精神症状 2. 統合失調症 3. 歯科に関連する精神障害 <b>[D-2-3]</b>  事前学修：精神神経医学に関する国家試験問題，教科書および過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。
講義	6/10 (月)	2	杉村淳准教授 (泌尿器科学講座)	<b>2. 泌尿器総論</b>	以下の項目について説明できる。 1. 泌尿器の解剖・生理 2. 泌尿器疾患の病態生理・症候 3. 泌尿器疾患での歯科治療の留意点 <b>[D-2-3]</b>  事前学修：泌尿器科学に関する解剖および機能について確認し講義に臨むこと。
講義	6/10 (月)	3	阿部貴弥教授 (泌尿器科学講座)	<b>3. 腎不全とその治療</b>	以下の項目について説明できる。 1. 急性腎障害，慢性腎臓病の原因・病態・治療 2. 透析療法と腎移植 3. 透析および腎移植症例での歯科治療上の留意点 <b>[D-2-3]</b>  事前学修：腎臓に関する解剖および機能について確認し講義に臨むこと。
講義	6/10 (月)	4	小原航教授 (泌尿器科学講座)	<b>4. 尿路感染症，尿路結石症，性行為関連感染症</b>	以下の項目について説明できる。 1. 尿路感染症，性行為関連感染症の病態と治療 2. 腎・尿管・膀胱結石の病態と治療 3. 尿路感染症，腎・尿管・膀胱結石症例での歯科治療上の留意点 <b>[D-2-3]</b>  事前学修：尿路に関する解剖および機能について確認し講義に臨むこと。
講義	6/11 (火)	1	西塚哲教授 (医療開発研究部門)	<b>5. 腫瘍の発生、転移、がん遺伝子と化学療法</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 腫瘍の概念、病因 2. 腫瘍の発育様式、転移 3. がん遺伝子・がん抑制遺伝子 4. 悪性腫瘍の症候、病態と診断 5. 抗癌剤の種類と作用機 <b>[D-2-3]</b>

講義	6/11 (火)	2	朝倉賀子助教 (小児科学講座)	<b>6. 成長と発達</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 小児の成長と発達 2. 小児期の疾患の特殊性について [D-2-3]
講義	6/11 (火)	3	朝倉賀子助教 (小児科学講座)	<b>7. 小児科学総論1</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 小児の代表的疾患について 2. 骨形成不全等 [D-2-3]
講義	6/11 (火)	4	朝倉賀子助教 (小児科学講座)	<b>8. 小児科学総論2</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 小児の代表的疾患について 2. 感染性心内膜炎、白血病等 [D-2-3]
講義	6/12 (水)	1	西田泰典助教 (眼科 科学講座)	<b>9. 眼科学総論-視覚器の 解剖と機能</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 眼球の横断面の構造 2. 眼球と付属器の発生 3. 網膜から視神経、後頭葉に至る視 覚伝導路の発生 [D-2-3]  事前学修：眼科学に関する解剖およ び機能を確認し講義に臨むこと。
講義	6/12 (水)	2	藤原亨准教授 (臨床 検査医学・感染症学 講座)	<b>10. 輸血検査・輸血療 法、GVHD</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 輸血検査 (血液型検査、不規則抗 体スクリーニング検査、交差適合試 験、輸血後感染症に関する検査) 2. 輸血療法 (輸血の適応と輸血の副 作用) 3. 輸血後GVHDの病態と予防方法 [D-2-3]
講義	6/12 (水)	3	藤原亨准教授 (臨床 検査医学・感染症学 講座)	<b>11. 臨床検査総論</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 基準値・基準範囲・カットオフ値 2. 感度・特異度、検査後確率、ROC 曲線 3. 疾病の予後の推定に関する臨床検 査の意義 [D-2-3]
講義	6/12 (水)	4	藤原亨准教授 (臨床 検査医学・感染症学 講座)	<b>12. 細菌学的検査</b>	以下の項目について説明できる。 1. 感染症診断における細菌検査の意 義 2. グラム染色と薬剤感受性試験 3. 臨床的に問題となる薬剤耐性菌 (MRSAなど) [D-2-3]

講義	6/13 (木)	1	橋浦助教（眼科学講座）	<b>13. 角膜移植と角膜屈折矯正手術、白内障手術</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 角膜移植の適応となる疾患や方法 2. 角膜屈折矯正手術の適応と方法 3. 白内障の種類 4. 白内障手術の適応と方法 <b>[D-2-3]</b>  事前学修：眼科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。
講義	6/13 (木)	2	岩動ちず子助教（産婦人科学講座）	<b>14. 産科学総論</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 妊娠経過 2. 分娩経過 <b>[D-2-3]</b>  事前学修：分娩進行過程および周産期の母胎の生体変化を確認し講義に臨むこと。
講義	6/13 (木)	3	千葉俊美教授（口腔医学講座関連医学分野）	<b>15. 身体所見とリスク評価と主要徴候および感染症・院内感染</b>	以下の項目について説明できる。 1. バイタルサインの原理と測定 2. 胸痛、ショック、頭痛、意識障害、呼吸困難、出血 3. 感染症の分類、主要な症候、病態 4. 院内感染経路および院内感染防止対策 <b>[E-6-②]</b>
講義	6/13 (木)	4	庄子忠宏准教授（産婦人科学講座）	<b>16. 婦人科学総論</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 女性性器の構造、機能 2. 婦人科良性疾患 3. 婦人科悪性腫瘍の診断と治療 <b>[D-2-3]</b>  事前学修：婦人科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。
講義	6/14 (金)	1	及川誠助教（眼科学講座）	<b>17. 歯科・口腔外科領域および全身疾患と眼</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 口腔、上顎洞、眼窩の解剖学的関係 2. 歯科・口腔外科疾患による眼合併症 3. 口腔内と眼病変を伴う全身疾患の症状、病態と治療 <b>[D-2-3]</b>  事前学修：眼科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。
講義	6/14 (金)	2	渡部大輔講師（皮膚科学講座）	<b>18. 皮膚科学総論</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 皮膚と粘膜の解剖・生理 2. 皮膚疾患と粘膜病変のかかわり 3. 歯科（口腔疾患）と皮膚粘膜の関連性 <b>[D-2-3]</b>  事前学修：皮膚科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。

講義	6/14 (金)	3	角田加奈子講師（皮膚科学講座）	<b>19. 皮膚炎・薬疹</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 湿疹皮膚炎の機序と治療法 2. 口腔粘膜病変を伴う薬疹の種類と治療 3. ベーチェット病の臨床所見と発症機序および治療 <b>[D-2-3]</b>  事前学修：皮膚科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。
講義	6/14 (金)	4	角田加奈子講師（皮膚科学講座）	<b>20. 感染症</b>	以下の項目について説明ができる。 1. 細菌性、ウイルス性、真菌・抗酸菌、性行為感染症の種類を列挙する 2. 上記感染症の発症機序、治療法、予防法 <b>[D-2-3]</b>  事前学修：皮膚科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。
講義	6/17 (月)	1	小泉淳一准教授（心臓血管外科学講座）	<b>21. 冠動脈バイパス術、感染性心内膜炎と弁膜症の外科</b>	以下の項目について説明できる。 1. 冠動脈バイパス術 2. 感染性心内膜炎 3. 弁膜症 <b>[D-2-3]</b>
講義	6/17 (月)	2	王挺講師（口腔医学講座 関連医学分野）	<b>22. 消化器疾患と口腔内細菌叢、非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）の分子病態学</b>	以下の項目について説明できる。 1. 口腔/腸内細菌叢の異常とNAFLDの関連 2. 病原性口腔細菌を標的としたNAFLDの予防・治療法の開発 <b>[D-2-3]</b>
講義	6/17 (月)	3	千葉俊美教授（口腔医学講座関連医学分野）	<b>23. 感染症・院内感染</b>	以下の項目について説明できる。 1. 感染症の分類、主要な症候、病態 2. インフルエンザ 3. 院内感染経路および院内感染防止対策 <b>[D-2-3]</b>
講義	6/17 (月)	4	千葉俊美教授（口腔医学講座 関連医学分野）	<b>24. 最近話題の消化器疾患</b>  口腔（歯科）診療を行う上で必要な最近話題の消化器疾患の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 機能性消化管疾患の主要な症候、病態 2. 慢性便秘症の主要な症候、病態 <b>[D-2-3]</b>  （口腔医学キーワード） 機能性ディスペプシア、過敏性腸症候群、慢性便秘症、腸内細菌

### コース最終試験 日程表

	6/18 (火)	2	千葉俊美教授（口腔医学講座関連医学分野）	<b>「医科学 I」評価試験</b>	「医科学 I」で修得した知識を確認する。
--	-------------	---	----------------------	--------------------	----------------------

## 教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	歯科医師のための内科学	千葉俊美、山田浩之編	医歯薬出版	2021年
参	(歯科内科) Internal Medicine for Dental Treatments	Toshimi Chiba, Hiroyuki Yamada, Editors	Springer	2024年
参	(歯科内科) 内科学 11版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2017年
参	(歯科内科) 今日の治療薬：解説と便覧 2021年版	浦部晶夫ほか編	南江堂	2021年
参	(小児科学) 標準小児科学 9版	原 寿郎 監修	医学書院	2022年
参	(皮膚科学) 歯科医のための皮膚科学 2 版	山崎雙次ほか編	医歯薬出版	2004年
参	(精神科学) 現代臨床精神医学 12版改 訂	大熊輝雄 著	金原出版	2013年
参	(精神科学) ICD-10 精神および行動の 障害：DCR研究用診断基準 新訂版	WHO 編	医学書院	2008年
参	(臨床検査医学) 最新臨床検査項目辞典	伊藤機一ほか編	医歯薬出版	2008年
参	(臨床検査医学) 標準臨床検査医学 4版	高木康、山田俊幸 編	医学書院	2013年
参	(産婦人科学) 標準産科婦人科学 5版	綾部琢哉、板倉敦夫 編	医学書院	2021年
参	(眼科学) 標準眼科学 14版	木下茂監修	医学書院	2018年
参	(泌尿器科学) 標準泌尿器科学 9版	赤座英之監修、並木幹 夫ほか編	医学書院	2014年

## 成績評価方法・基準・配点割合等

「医科学Ⅰ」評価試験 100% *各科より講義数に応じた問題数による総合試験を実施する。
---

## 特記事項・その他 (試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等)

特記事項なし
--------

## 授業に使用する機械・器具と使用目的←特記すべき器械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的